

# 第 89 期 中間報告書

自 2019年4月1日 至 2019年9月30日



***Kasai***



**河西工業株式会社**

証券コード No 7256

## 株主の皆様へ

河西グループは  
誠意と新しい技術の創造によって  
価値ある商品、サービスをグローバルに提供し、  
顧客、株主、従業員をはじめ、  
全ての関わる人々の幸福を実現します。



代表取締役社長  
社長役員

渡邊 邦幸

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第89期第2四半期連結累計期間（自2019年4月1日至2019年9月30日）の事業の概況等についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の激化や地政学的リスクの高まり等を受け、先行き不透明な状況が続きました。米国では、良好な雇用・所得環境により個人消費は好調を維持しておりますが、製造業においては米中貿易摩擦等により輸出の伸び悩みが見られました。中国では、米中貿易摩擦の長期化による外需の低迷に伴い経済成長の減速が継続し、その他アジア新興国も影響を受け、成長は鈍化しました。欧州においては、英国のEU離脱問題が引き続き懸念材料となり、成長は減速傾向となりました。

我が国経済においては、雇用情勢の改善や設備投資の増加の一方で、海外景気の減速に伴い生産・輸出に弱さが見られました。

当社グループの関連する自動車業界では、米国市場の新車販売はピックアップトラック、SUVなどライトトラックの販売が堅調を維持しておりますが、乗用車の販売低迷により全体では減少傾向が続いております。中国市場では電気自動車を中心とした新エネルギー車の販売は増加しているものの、景気減速と貿易政策不安により全体の販売台数は減少しました。欧州市場の自動車販売は、英国情勢の影響で英国、ユーロ圏ともに販売減少が続いております。

す。日本市場では、前年同期と比べ新車販売台数は増加しました。

このような経営環境の中で、当社グループではグローバル市場における自動車内装部品企業としての地位を確立すべく、製品開発力・技術力の強化を図り、海外を含む取引先への拡販を積極的に進めております。これらの活動の成果として、『1STEP成形工法 縫製加飾ヘッドライニング』がモノづくり日本会議/日刊工業新聞社が主催する「2019年"超"モノづくり部品大賞（モビリティ関連部品賞）」を受賞いたしました。

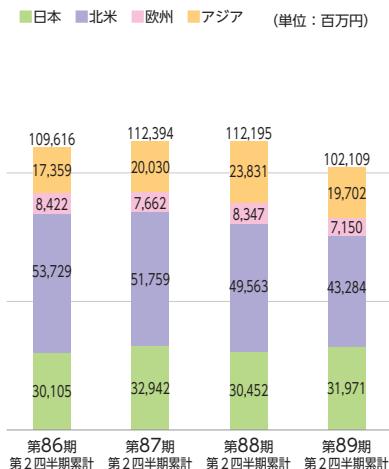
当第2四半期連結累計期間における売上高は、日本セグメントは増収となったものの、北米、欧州、アジアの各セグメントでの減収の影響により、1,021億9百万円と前年同四半期に比べ100億86百万円（△9.0%）の減収となりました。営業利益は、39億31百万円と前年同四半期に比べ17億49百万円（△30.8%）の減益となりました。経常利益は、43億95百万円と前年同四半期に比べ15億48百万円（△26.0%）の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、14億円と前年同四半期に比べ10億17百万円（△42.1%）の減益となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

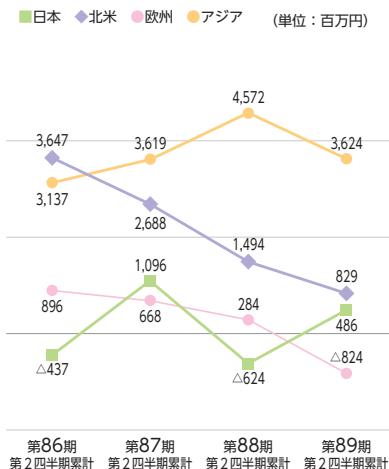
2019年12月

# セグメント別業績

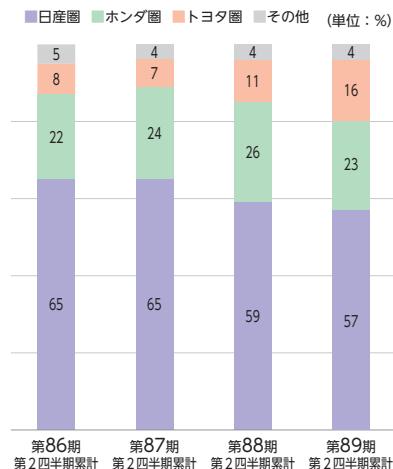
## セグメント別売上高 (連結)



## セグメント別営業利益 (連結)



## 得意先別売上シェア (連結)



### (日本)

当社受注車種のうち、海外向けの輸出車種や高級乗用車の減産はあったものの、新規車種の立上げ効果や軽自動車の生産台数の増加により、売上高は319億71百万円と前年同四半期比15億18百万円の増収(+5.0%)となり、セグメント利益は4億86百万円と前年同四半期比11億10百万円の増益となりました。

### (北米)

アメリカ市場でのSUVへの需要シフトによる乗用車需要の大きな落ち込みのため、当社受注車種も減産しております。また、ASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を第1四半期連結会計期間より適用したことにより、買戻し契約に該当する有償支給取引について売上と原価を相殺表示しているため、売上高が49億29百万円減少しております。この結果、売上高は432億84百万円と前年同四半期比62億78百万円の減収(△12.7%)となり、セグメント利益は新車関連費用の増加もあり、8億29百万円と前年同四半期比6億65百万円の減益(△44.5%)となりました。

### (欧州)

当社受注車種の減産により、売上高は71億50百万円と前年同四半期比11億97百万円の減収(△14.3%)となりました。セグメント損失は新拠点立上げに伴う費用の増加もあり、8億24百万円と前年同四半期比11億9百万円の減益となりました。

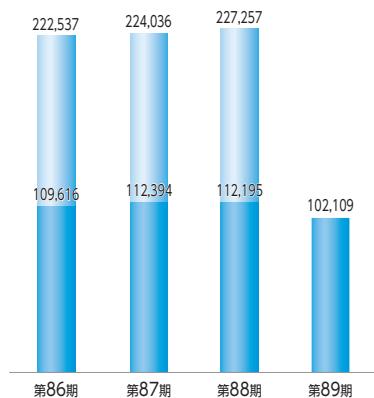
### (アジア)

中国市場では、市場の拡大が勢いを失い需要が伸び悩む市場環境において、当社受注車種の減産がありました。この影響を受け、アジアセグメントの売上高は197億2百万円と前年同四半期比41億28百万円の減収(△17.3%)となり、セグメント利益は36億24百万円と前年同四半期比9億47百万円の減益(△20.7%)となりました。

# 財務ハイライト (連結)

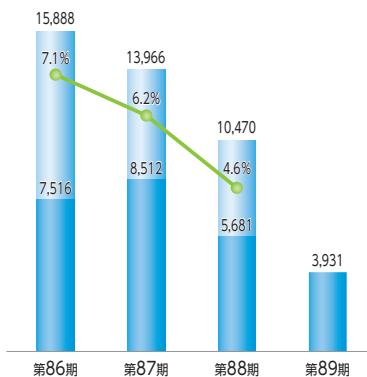
## 売上高

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位：百万円)



## 営業利益 / 通期営業利益率

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位：百万円)  
● 通期営業利益率



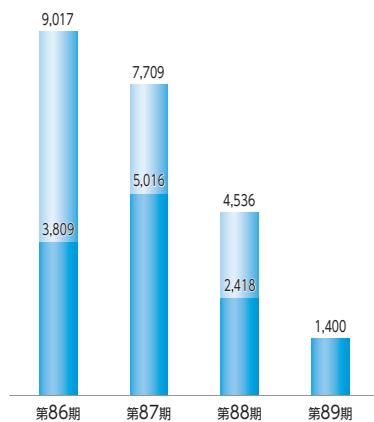
## 経常利益 / 通期経常利益率

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位：百万円)  
● 通期経常利益率



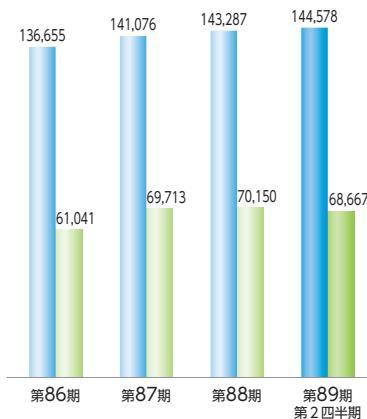
## 親会社株主に帰属する当期純利益

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位：百万円)



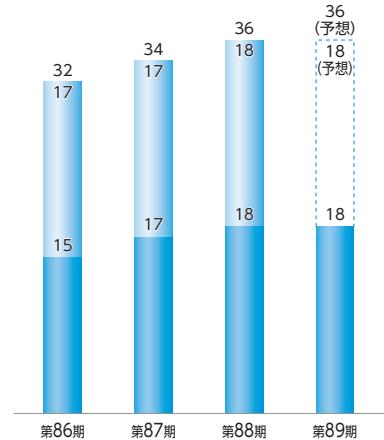
## 総資産 / 純資産

■ 第2四半期 ■ 期末 (単位：百万円)  
■ 第2四半期 ■ 期末



## 配当金

■ 中間 ■ 期末 (単位：円)



# 連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

	第89期第2四半期 2019年9月30日	第88期 2019年3月31日
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	68,586	68,588
固定資産	75,992	74,698
有形固定資産	64,589	63,131
無形固定資産	1,561	1,324
投資その他の資産	9,841	10,242
<b>資産合計</b>	<b>144,578</b>	<b>143,287</b>
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	55,107	49,457
固定負債	20,804	23,679
<b>負債合計</b>	<b>75,911</b>	<b>73,136</b>
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	63,875	63,160
資本金	5,821	5,821
資本剰余金	5,876	5,868
利益剰余金	52,713	52,012
自己株式	△535	△541
その他の包括利益累計額	△3,130	△1,570
新株予約権	－	5
非支配株主持分	7,921	8,554
<b>純資産合計</b>	<b>68,667</b>	<b>70,150</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>144,578</b>	<b>143,287</b>

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	第89期第2四半期累計 自2019年4月1日 至2019年9月30日	第88期第2四半期累計 自2018年4月1日 至2018年9月30日
売上高	102,109	112,195
売上原価	88,666	97,356
売上総利益	13,442	14,838
販売費及び一般管理費	9,510	9,157
営業利益	3,931	5,681
営業外収益	785	483
営業外費用	322	221
経常利益	4,395	5,943
特別利益	10	36
特別損失	197	52
税金等調整前四半期純利益	4,208	5,927
法人税、住民税及び事業税	1,663	2,072
法人税等調整額	23	186
<b>四半期純利益</b>	<b>2,521</b>	<b>3,668</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,120	1,250
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,400	2,418

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	第89期第2四半期累計 自2019年4月1日 至2019年9月30日	第88期第2四半期累計 自2018年4月1日 至2018年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,829	8,645
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,216	△7,709
財務活動によるキャッシュ・フロー	△878	1,514
現金及び現金同等物に係る換算差額	△582	△526
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	152	1,924
現金及び現金同等物の期首残高	17,807	17,990
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,960	19,915

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

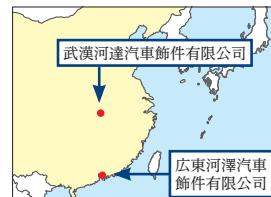
# トピックス

## 1. 中国に新会社を2社設立

当社は、2019年9月に新会社として、中国湖北省武漢市に武漢河達汽車飾件有限公司を、広東省東莞市に広東河澤汽車飾件有限公司を設立いたしました。

武漢河達汽車飾件有限公司は、当社および当社子会社の広州河西汽車内飾件有限公司と海南鈞達汽車飾件股份有限公司との合併により設立され、主要顧客である自動車メーカーの武漢地区での生産増加に伴う部品供給体制の強化と、中国における今後の更なる事業拡大を図ることを目的としています。

広東河澤汽車飾件有限公司は、当社と倣成集団有限公司との合併により設立されました。倣成集団は、当社の主力事業であるトリム部品の製造において、同部品を構成するアルミや本木目、メッキなどのいわゆる加飾部品の製造ノウハウを保有しております。本合併により、これまで当社グループ外から調達していた加飾部品につき、その開発、設計から製造までの一貫体制を構築することを目的としています。



## 2. インドJRG社と協業開始

当社は、HONDAがアジア戦略車として日本、タイ、マレーシア、インドネシア、インドに展開予定の新型車種の受注獲得に向け、インド地域でのパートナーとして2019年10月にJRG社と技術援助契約を締結いたしました。JRG社はインドに4カ所の工場を有し、2輪や4輪のメーカーと取引があるプラスチック成形加工メーカーであり、当社はJRG社との協業によりHONDAから戦略車のドアトリム受注を手始めに、インドやアセアン市場攻略に向けて事業の拡大を図ってまいります。



## 3. 九州河西の苅田工場が竣工、2020年3月稼働

九州河西株式会社（当社子会社）の第2工場として新設した苅田工場が、2019年7月に竣工いたしました。苅田工場は、北九州空港からほど近い福岡県京都郡苅田町に位置し、敷地面積が約17,000㎡、日産自動車九州及び日産車体九州向け自動車内装部品を生産・供給いたします。

現在、来年3月下旬の本格稼働に向けて、設備の搬入と生産の準備を進めており、得意先への迅速な対応により信頼を勝ち取り、永続的な受注と事業拡大を図ってまいります。



九州河西（株） 苅田工場

## 4. 2019年“超”モノづくり部品大賞を受賞

当社は、モノづくり日本会議と日刊工業新聞社の共催で毎年実施している、“超”モノづくり部品大賞のモビリティ関連部品賞を2019年11月に受賞いたしました。“超”モノづくり部品大賞は、日本のモノづくりの競争力向上を支援するため、産業・社会の発展に貢献する「緑の下の方持ち」的存在の部品・部材を対象に表彰されており、当社は今回で4度目の受賞となります。

今回の受賞テーマは、自動車の「装飾ヘッドライニング（室内天井）の1STEP成形工法」です。これは、室内天井の製造に際し、ステッチを施した表皮の貼付けと天井の成形を1工程で行う新技術であり、これまでは最低でも2工程（成形→表皮貼合）必要であったものが本技術により所要時間が大幅に短縮されました。本技術による天井の装飾は、得意先から新規採用の引き合いがあるなど、今後の受注拡大に寄与することが期待されております。



装飾ヘッドライニング

## 会社概要 (2019年9月30日現在)

商号	河西工業株式会社
事業	自動車内装部品の製造・販売及びこれに付帯する一切の事業
創業年月	1912年1月
設立年月	1946年10月
資本金	58億21百万円
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
従業員数	単独1,218名 連結9,401名

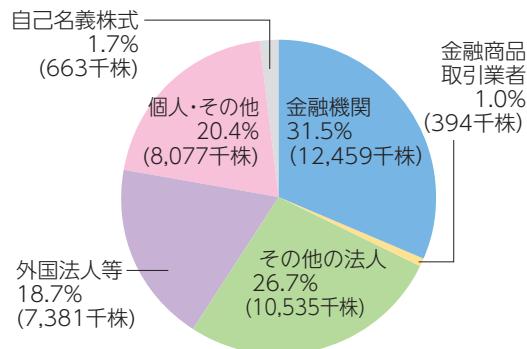
## 株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	127,695,000株
発行済株式の総数	39,511,728株 (うち自己株式663,034株)
株主数	15,961名
大株主 (上位5名)	

株主名	持株数	持株比率
長瀬産業株式会社	5,404千株	13.9%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社	4,015千株	10.3%
株式会社りそな銀行	1,825千株	4.7%
株式会社タチエス	1,692千株	4.3%
河西工業取引先持株会	1,283千株	3.3%

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### 所有者別株式分布状況



## 事業所

本店及び本社	〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山3316番地 電話 0467 (75) 1125 (総務部ダイヤルイン)
寒川工場	神奈川県高座郡寒川町宮山3316番地 電話 0467 (73) 2030 (管理課ダイヤルイン)
寄居工場	埼玉県大里郡寄居町大字赤浜158番地 電話 048 (582) 3355 (代表)

子会社 国内6社 海外16社

関連会社 国内3社 海外5社

## 役員

代表取締役社長 社長役員	渡邊 邦幸
取締役 常務役員	半谷 勝二
取締役 常務役員	山道 昇一
取締役	上島 宏之※
取締役	結川 孝一※
取締役 監査等委員	伊豆野 学※
取締役 監査等委員	平田 省三※
取締役 監査等委員	横山 和彦※

(注) ※印は社外取締役であります。

## 株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL：0120-232-711 (通話料無料) 郵送先：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告 ( <a href="http://www.kasai.co.jp/">http://www.kasai.co.jp/</a> ) やむを得ない事由によって電子 公告による公告ができない場合 は、日本経済新聞

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。  
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ●ホームページのご案内

企業活動全般の情報や決算発表資料等を適時掲載しておりますので、是非ご活用ください。

<http://www.kasai.co.jp/>



**KASAI KOGYO CO., LTD.**

**UD  
FONT**

**VEGETABLE  
OIL INK**